

2021年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1472201951	事業の開始年月日	平成16年10月1日	
		指定年月日	平成28年10月1日	
法人名	有限会社 湘南ホームフレンド			
事業所名	ホームフレンド藤沢			
所在地	(251-0861) 藤沢市 大庭5448-2			
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	名	
		ユニット数	ユニット	
自己評価作成日	令和3年7月1日	評価結果 市町村受理日	令和4年10月14日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

法人の経営理念でもある「安心・安全・安定」の三つの安らぎを福祉と生活サービスを通じて地域に提供して参ります。ご入居頂いている皆様には安心して過ごして頂ける時間と、安全に暮らせる場所（住処）を提供します。皆様をサポートさせて頂きます職員は、ご入居頂いている皆様が安定した生活を送れるよう、日々、精進して参ります。

ご入居者様やご家族様と職員が同じ時間を共有し、ともに考え、支えあい、温かいホームを築いていきたいと考えております。

我がホーム（家）に関わる全ての人達が「今、目の前にある当たり前」を大切に、「いま、出来る事」を「これからも出来る事」にしていける様、皆で考え努力と協力をし、皆様との限りある時間を大切に、「ここ（住処）に来て、出会えて良かった」と感じて頂ける。そんな未来に向け、今を大切に同じ時を過ごして生きたいと思っております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和3年9月9日	評価機関 評価決定日	令和3年10月4日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は小田急電鉄江ノ島線「湘南台」駅、またはJR東海道線「藤沢」駅から神奈川中央交通バスで約13分ほど「北の谷」バス停下車徒歩3分の幹線道路から少し入った住宅地にあります。建物の隣には北の谷公園、近隣には大庭裏門公園があり、樹木で囲まれた池や四季折々の野鳥観察ができ気軽に散歩や外気浴などが楽しめる環境です。

優れている点>

法人の経営理念「福祉と生活サービスを通じて、安心、安全、安定の三つの安らぎを提供する」を施設の行動方針に具体化し日々のケアの中で活用しています。利用者の様子に寄り添い「お知り合い」の関係になることを通じて安心できる居場所づくりに繋がっています。職員の提案をもとに「今、出来る事」を大切に考えながら現有能力を少しでも発揮できるよう係わりに努めています。きめ細かな個別ケア会議を通じて定期的に支援に対する振り返りを行っています。

<工夫点>

自宅の生活の継続として「当たり前の日常」を大切に、趣味などの継続に努めています。コロナ禍でも家族とのつながりを大切にするため感染防止対策をした談話室を準備し、面会継続の取り組みをしています。外の空気を感じられるように、近くの公園や神社等、可能な範囲で外出や外食のテイクアウトの催しをしています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ホームフレンド藤沢
ユニット名	1階

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらい <input checked="" type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらい <input type="checkbox"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, 毎日ある <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまにある <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="checkbox"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input checked="" type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「福祉と生活サービスを通じて、安心・安全・安定の3つの安らぎを地域に提供する」という当社理念を軸に、日々、ケアに努めております。	法人の経営理念のもと施設の行動指針を決めています。変わらない、当たり前の生活を継続するために、健康管理観察や生活面でのルーティンの把握、身体面での変化の情報を主治医と共有しています。早期治療に繋げ、結果として安心、安全、安定の三つの安らぎになるように努めています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	現コロナ禍ではなかなか地域の皆様との機会は持てていませんが、様々な状況が良くなったなら、交流の機会を増やして行きたいと考えております。	自治会に加入しています。現在はコロナ禍の中で活動は出来ていませんがコロナ禍以前と変わりなく繋がりは継続しています。近隣の中学校のコーラス部のボランティアや北の谷公園での夏祭りなどの地域活動が再開されることを待っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現状、活かす事は出来ておりません。今後、どういった事で地域の皆様に向け発信していく事が出来るかを検討して参ります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	昨年に引き続き、書面開催とさせて頂いております。ワクチン接種が進み、安心して集まって頂ける時期がきましたら、活かしていきたいと思っております。	コロナ禍の中でも書面会議の開催を継続し、家族、自治会、民生委員、地域包括センター職員に報告書を配布しています。要望等は職員間で議題として取り上げ共有しています。排泄時のパット利用の見直しなどの改善に繋がった事例もあります。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	介護保険更新時やご家族からの相談を基に、市町村担当者と連絡を取り協力関係を築いております。	市担当部門との連絡は電話や書面などによる事務連絡が主な情報交換となっています。施設が必要とする情報の入手や相談、コロナ禍での対応情報などは主に法人から入手しています。	関係する市担当部門との日常的な連絡により現況での必要な情報入手がさらに進むことが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	以前は転落の恐れがある方に対し、壁とテーブルで挟むと言った、安全のための拘束がありました。現在は、スピーチロックも4点柵も無い環境となっており、職員の身体拘束に対する意識も変化、改善しております。虐待に関する研修も積極的に行っています。	以前は「座っていて」や「待って」、「触らないで」等のスピーチロックがありましたが、利用者は目的があって行動している事を職員と話し合い、行動を止める前に、どうしたいのか理由を聞き、寄り添う介護を心がけるよう指導しています。問題があればその時に確認と話し合いをし、拘束のないケアに取り組んでいます。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	法令について学ぶ機会が現状ありませんが、日々のケアの中での皮膚の状態や、言動、表情等、少しの異変に気が付けるよう心掛けております。	日々、職員への働きかけによる話せる雰囲気作りに取り組み、問題がある場合は管理者に伝えるように周知先も含めて決めています。研修では「虐待についての基礎知識と予防」の動画を活用して日常のケアの中で啓蒙と防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修や社内研修を行い理解することで実際に制度が活用できるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご入居時、退去時、プラン更新や説明等、ご本人・ご家族様が理解・納得出来るように分かりやすい説明を心がけております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	プラン作成のための聞き取りや、毎月の状況報告の折に、ご家族様からのお言葉を頂いております。介護相談員の導入により、外部への意見、要望が表に表せるようにしております。	毎月「ホームフレンド藤沢の便り」で運営推進会議、行事開催、今後の予定などの内容等、身近な出来事や伝えるべきことをまとめて発行しています。運営推進会議の書面には助言や意見等の返信先を大きくファックスやメールに明記することで積極的にアピールを行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	現在はコロナウイルス感染予防の観点から、職員を集めての会議は開催しておらず、今後、そういった機会を設け、反映させていきたいと考えております。	職員に対して意見を出すことで個々の責任感が芽生え、業務をこなすだけの働き方から、「考え自ら行動する働き方」に変わる重要な機会に繋がると捉えています。コロナ禍が一段落するのを待って会議の開催を検討しています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	社内研修会、また事業所勉強会の年間情報の開示をするとともに、日々の業務においても知識の重要性を盛り込み、各職員の向上に働きかけています。年2回人事考課を複数人で行う事で偏りを防止し、個人面談による状況把握、指導に努めています。	人材難の中での就業環境の整備には難しいものがありますが職員の定着に関する改善に向けての働きかけを行っています。勤務年数が長い職員が多く、新たなことに取り組む意欲作りが必要と感じ、新任職員の意見を積極的に取り入れることで改善が進むよう努めています。	環境整備が少しでも伝わるよう管理者の具体的な働きかけが期待されます。
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	現在、外部から講師を招いての研修は中止しておりますが、動画配信サービスを利用し、働きながらのスキルアップに繋がる様にしています。	定期会議を中心に話し合いの機会を設け、職員の希望などを聞く機会としていますが個別にはまだ実現出来ていません。外部の相談窓口を設けて、施設内で話しづらい事なども拾い上げる対応をしています。施設独自の研修でキャリアアップにつなげるよう努めています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	現状、取り組みは出来ておりませんが、今後の取り組みの中でネットワーク作りや相互訪問等の活動をしていきたいと考えております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前に頂く情報を元に、お話を伺いながら、状態の観察を行い、会話の中でお話がしづらい事も少しずつ打ち解けて頂ける様に努め、不安な事、要望等の聞き取りをし、共に考えより良い生活に繋がられるように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	困っておられることに対し、私たちが出来る事をしっかりと伝えて関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ボランティアの導入や、地域イベントへの参加、身体的なケアについては、訪問マッサージや、訪問歯科等、外部からの支援や交流が出来る旨を説明させて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご自身で出来る事、少しの手助けがあれば出来る事、出来るけどやりたくない、等、その時の気分や体調に合わせ、支援しております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様の面会時にご本人とともにされたい事、囲碁や散歩、食事等、限られた時間を共に過ごして頂けるように努め、日々の状況などを報告させて頂いております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人がご自宅で使用されていた思い入れのある家具や、装飾品、写真などを持ってきていただいております。	コロナ禍でも感染予防対策をした談話室を準備して関係継続のための支援に努めています。電話等による報告や情報交換などを積極的に行っています。馴染みになっている近隣の場所などへの外出レクリエーションなども安全に配慮しながら行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合うご入居者様同士、お席を近くに配置し、様々な時間に交流が出来る様にしています。時々、関係性が変わってしまう時が見られる事がある為、その際には一定の距離を取れる様、職員が配慮し対応しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	レベルの低下、入院、予後の状態に利用継続困難となり、やむなく終了となります。終了後も、電話にてご様子を伺い、また、ご家族からの相談にも可能な限りアドバイス等の対応を行うなど、お気持ちに寄り添う様努めております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	全てのご意向を実現する事は、なかなか難しいのですが、ご家族、ご本人への聞き取り・相談の上、出来得限りの把握、実現に向け検討しております。	日々のケア、入浴や食事等の際の会話を大切にしています。日々の生活を送る中で、他愛無い会話の積み重ねや様々な思いの吐露を受けて職員はフランクに思いや意向を聞きだしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	初回面談時の聞き取り、入居後の暮らしの中での気付き等から、情報を集め把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日1日と状況、状態の小さな変化に気付き、医師、看護師、その他業種との情報共有、連携を図り、個々の有する能力の維持継続に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人、ご家族の意向を聞き取り、職員、医療等多方面との相談検討、情報の共有を行い、それぞれの意見を聞き取り介護計画を作成しております。	入居時の面談を通して初期のケアプランを作成し、その見直しは1ヶ月後にしています。その後は2ヶ月ごとのカンファレンスを行いながら、利用者の状況に著しい変化があれば、医療チームを加えて適時ケアプランを変更し、その内容と趣旨を家族に伝えています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々のご様子や様々な変化について、記録や、申し送りノート等にて情報共有をし、必要に応じご家族への報告、相談、プランの見直しに反映し活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	現在は行えていませんが、近隣の中学校コーラス部の訪問や、ボランティア、買い物同行等を今後、再開しける様に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	施設の隣に公園があり、散歩の範囲でいかれる神社も近隣にあり、個々の体力に応じ、希望に沿った外出等の楽しみを支援しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	現在3か所の往診医、2か所の訪問マッサージ、2か所の歯科医院の協力を得て、皆様の健康維持管理をしております。	入居時に意向を十分に確認し、医療ケアの対応をしています。内科は全員が事業所の提携医療サービスを受けています。内科は月2回、歯科は2～4回、皮膚科は1回の往診です。外来受診は家族の同行をお願いしています。診察結果は個人ファイルに記録をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	グループ内を巡回している施設看護師が2名おり、各施設全入居者のバイタルチェック、身体管理、保清、体調変化時や、その他個々の状況に合わせて主治医との連携を取り支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中のご様子や、退院後のケアについては、入院中から医療機関と往診医、看護師と状況確認、情報共有を行い、退院後、施設での生活にスムーズに戻れるよう関係作りを行っています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医師の診断、予後を受け入れご家族様を含め関係機関での情報共有、カンファレンスを行い、ケア方針を決定します。ターミナルケア移行に伴い、ご家族様と契約を行います。ご本人、ご家族の希望を聞き取り、施設としてできる事を取組んでおります。	入居時に重度化に関する施設での対応の詳細を説明し、家族に了解を得てから契約書を交わしています。終末期の状況の変化に際しての家族の意向の変更にも対応しています。支援の内容の変更、追記も随時行っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	時間に関わらず、急変、事故発生時にはマニュアルに沿い、各階リーダー、管理者への報告、指示を仰ぎ、必要に応じご家族への連絡後、救急搬送をします。事故の際には報告書を提出の上、振り返りを行い、再発予防に努めております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	三日分の食料、飲料水、ブランケットの備蓄をしています。定期的な防災訓練を心掛け、避難経路の確認をしています。マニュアルは年毎の見直しをし、より安全・スムーズに避難が出来る様に改善していきます。	コロナ禍以前は例年3月と11月に避難訓練をしています。2021年は実施が遅れています。コロナ終息後は自治会、隣人の参加も計画しています。職員間の緊急連絡網を整備しています。災害時の備蓄品は3日分を事業所として確保しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個々に居室があり、おひとりで過ごされたい方は自由に戻られ、好きな時間を過ごして頂けます。レクリエーション活動等も行っておりますが、その日の気分に合わせて対応しております。排泄へのお声掛けも周囲に配慮し言葉を選んで対応しています。	声かけは苗字、名前を「～さん」付けでしています。新入職員は接遇研修を受け、レポートを提出しています。利用者を職員全員が日々見守る観点から、シフトチェンジの折には職員の小さな気付きを口頭またはノートで残しています。スピーチロックの防止を全員が励行しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員間での情報共有を徹底し、個々の小さな言葉にも耳を傾け、出来る事、出来ない事を提示し、どうされたいかを決めて頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日々、おひとりおひとりのペースを優先しておりますが、やはり、職員側の都合が介入してしまう事はあります。出来る限り、希望に沿った支援はしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入浴の時や、外出等、ご本人と一緒に洋服を選んだり、訪問美容の際には髪型を相談したり、その方らしい身だしなみが出来る様支援しております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来上がったお料理の味見や、お料理のコツ、食後の食器拭き等を一緒に行っています。月に1度程度、テイクアウトのお弁当等を楽しんでいただいております。	食材と献立表は外部業者からの提供を受けていますが、調理は施設内で行っています。パン食は週1回、おやつは毎日提供しています。おせち料理やクリスマスなどの季節食、誕生日の祝い膳やケーキなどいつも楽しく食事を楽しめるように好みを聞きながら職員全員で工夫を凝らしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	日々、食事量、水分量、排泄の回数など確認し、体調の変化にいち早く気付ける様にしております。持病に応じた塩分、カロリーの制限も主治医、看護師と相談の上行き支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	定期的な歯科往診を依頼しており、口腔内の状態の確認をしております。歯磨きや義歯の調整も細かくご指導頂いております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	日頃のちょっとした仕草などのサインでトイレへの誘導タイミングをはかり、対応しております。入院等で体力の低下が見られ、一時的なオムやリハビリパンツの導入はしますが、体力が戻り次第、入院前の状態に戻せるように支援しております。	利用者はそれぞれに排泄の時間とリズムを持っています。日々を共に過ごす職員は一人ひとりの体調と見守りながら声掛け誘導や水分の摂取量の調整をしています。リビングでの軽い運動、レクリエーションは効果を発揮しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘傾向にある方だけでなく、全入居者様に、毎日、ヨーグルトを提供し、排便の有無を毎朝確認しております。下肢の運動や、看護師による腹部マッサージなど、状況に応じ個々に対応をし取り組んでおります。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	皆様のタイミングや希望の時間に入浴をして頂ける環境はとても理想的ではありますが、現状、見守りの人員配置等が難しく、安全面を考慮し時間帯を決めて入浴をして頂いておりますが、ご気分に合わせて入浴日は臨機応変に対応しております。	利用者の入浴は平均して週2回です。足湯や湯の温度調節、利用者の好きな洗い方など、お風呂を楽しめる工夫を心掛けています。入浴のタイミングは、まずは利用者のその日の体調を観察しながら声掛けをしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	休憩時間や終身時間は個々の習慣に合わせて、対応して居ります。日中の横になりたいと要望があれば居室にてゆっくりと過ごして頂けます。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員がいつでも確認出来る様に薬情はフロアに置いており、体調の変化など気付いた事は、皆で情報を共有し観察、往診の際に主治医への報告、相談、検討をする体制が出来ております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	俳句や囲碁、塗り絵や読書、散歩等、皆様の趣味の時間を共有し、時にスタッフが教えて頂いたり、楽しみや役割、気分転換になればと支援しております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	現状、コロナウィルスの感染予防の観点から、外出支援は控えておりますが、今後、個々の要望や、施設イベント等で皆様に楽しんで頂ける支援をしていきたいと考えております。	コロナ禍の現在は散歩程度になりますが、利用者1人に職員1人が付き添いで行きます。車いすでの散歩は9人の利用者がいます。歩行困難者には施設内で歩行訓練も行っています。近くに公園もあり、みんなで行く季節ごとの散策の再開を期待しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	紛失や物取られ妄想からのトラブル予防のため、原則、お金の所持はお断りをさせて頂いておりますが、ご家族、ご本人と相談のうえ、ご希望があれば対応させて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望に応じ電話でご家族とお話をしたり、お手紙のやり取りもスタッフが代行する等の支援をしております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用空間は十分な広さがあり、窓も大きく彩光も十分入ってきます。入居頂いている皆様が快適に過ごせる温度を意識し調整しております。テレビや音楽を楽しんで頂く時は、耳障りにならない音量で流しております。季節を感じて頂ける様に、季節ごとの壁面飾りを入居者様と作成しております。	共用スペースは自然光を採り入れて明るく、安全な動線を考慮した家具の配置をしています。室内は季節を感じる壁飾りなどをして、静かに趣味の手工芸や塗り絵を楽しんでいます。1人になりたい利用者は自室で寛げることも自由に出来ています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	壁面にゆっくりとくつろげるソファを配置し、誰でも好きな時に座って頂けます。気の合った方同士、テーブルで自由に談笑をされたり、マッサージ機に掛かりながら読書を楽しまれています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご入居時に使い慣れた家具や装飾品、ご家族のお写真などを持って来て頂けるようお願いをしています。居室内の配置等はご家族様と相談の上決めております。	常設のベッドを使用します。自宅で慣れ親しんだ思い出の家具と共に生活しています。利用者の思いを優先して居室担当者が家具の配置のお手伝いをしています。衣類、小物の収納は表にタグを付けて出し入れが分かり易く工夫しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	浴室やトイレの表示、個々の居室にはネームプレートを設置しております。居室押し入れや、箆笥には入っている物をご自身で分かる様にタグを貼ったり、ご自身で整理整頓をして頂いております。居室内の清掃もスタッフと一緒に出来る事をして頂いております。		

事業所名	有限会社 湘南ホームフレンド
ユニット名	2階

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input checked="" type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="checkbox"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, 毎日ある <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまにある <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="checkbox"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input checked="" type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「福祉と生活サービスを通じて、安心・安全・安定の3つの安らぎを地域に提供する」という当社理念を軸に、日々、ケアに努めております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	現コロナ禍ではなかなか地域の皆様との機会は持てていませんが、様々な状況が良くなったなら、交流の機会を増やして行きたいと考えております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現状、活かす事は出来ておりません。今後、こういった事で地域の皆様に向け発信していく事が出来るかを検討して参ります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	昨年に引き続き、書面開催とさせて頂いております。ワクチン接種が進み、安心して集まって頂ける時期がきましたら、活かしていきたいと思っております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険更新時やご家族からの相談を基に、市町村担当者と連絡を取り協力関係を築いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	以前は転落の恐れがある方に対し、壁とテーブルで挟むと言った、安全のための拘束がありました。現在は、スピーチロックも4点柵も無い環境となっており、職員の身体拘束に対する意識も変化、改善しております。虐待に関する研修も積極的に行っています。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	法令について学ぶ機会が現状ありませんが、日々のケアの中での皮膚の状態や、言動、表情等、少しの異変に気が付けるよう心掛けております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修や社内研修を行い理解することで実際に制度が活用できるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご入居時、退去時、プラン更新や説明等、ご本人・ご家族様が理解・納得出来るように分かりやすい説明を心がけております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	プラン作成のための聞き取りや、毎月の状況報告の折に、ご家族様からのお言葉を頂いております。介護相談員の導入により、外部への意見、要望が表に表せるようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	現在はコロナウイルス感染予防の観点から、職員を集めての会議は開催しておらず、今後、そういった機会を設け、反映させていきたいと考えております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	社内研修会、また事業所勉強会の年間情報の開示をするとともに、日々の業務においても知識の重要性を盛り込み、各職員の向上に働きかけています。年2回人事考課を複数人で行う事で偏りを防止し、個人面談による状況把握、指導に努めています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	現在、外部から講師を招いての研修は中止しておりますが、動画配信サービスを利用し、働きながらのスキルアップに繋がる様にしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	現状、取り組みは出来ておりませんが、今後の取り組みの中でネットワーク作りや相互訪問等の活動をしていきたいと考えております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前に頂く情報を元に、お話を伺いながら、状態の観察を行い、会話の中でお話がしづらい事も少しずつ打ち解けて頂ける様に努め、不安な事、要望等の聞き取りをし、共に考えより良い生活に繋がれるように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	困っておられることに対し、私たちが出来る事をしっかりと伝えて関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ボランティアの導入や、地域イベントへの参加、身体的なケアについては、訪問マッサージや、訪問歯科等、外部からの支援や交流が出来る旨を説明させて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご自身で出来る事、少しの手助けがあれば出来る事、出来るけどやりたくない、等、その時の気分や体調に合わせて、支援しております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様の面会時にご本人とともにされたい事、囲碁や散歩、食事等、限られた時間を共に過ごして頂けるように努め、日々の状況などを報告させて頂いております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	ご本人がご自宅で使用されていた思い出のある家具や、装飾品、写真などを持ってきていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合うご入居者様同士、お席を近くに配置し、様々な時間に交流が出来る様になっています。時々、関係性が変わってしまう時が見られる事がある為、その際には一定の距離を取れる様、職員が配慮し対応しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	レベルの低下、入院、予後の状態に利用継続困難となり、やむなく終了となります。終了後も、電話にてご様子を伺い、また、ご家族からの相談にも可能な限りアドバイス等の対応を行うなど、お気持ちに寄り添う様努めております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	全てのご意向を実現する事は、なかなか難しいのですが、ご家族、ご本人への聞き取り・相談の上、出来得る限りの把握、実現に向け検討しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	初回面談時の聞き取り、入居後の暮らしの中での気付き等から、情報を集め把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日1日と状況、状態の小さな変化に気付き、医師、看護師、その他業種との情報共有、連携を図り、個々の有する能力の維持継続に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人、ご家族の意向を聞き取り、職員、医療等多方面との相談検討、情報の共有を行い、それぞれの意見を聞き取り介護計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々のご様子や様々な変化について、記録や、申し送りノート等にて情報共有をし、必要に応じご家族への報告、相談、プランの見直しに反映し活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	現在は行えていませんが、近隣の中学校コーラス部の訪問や、ボランティア、買い物同行等を今後、再開していく様に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	施設の隣に公園があり、散歩の範囲でいかれる神社も近隣にあり、個々の体力に応じ、希望に沿った外出等の楽しみを支援しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	現在3か所の往診医、2か所の訪問マッサージ、2か所の歯科医院の協力を得て、皆様の健康維持管理をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	グループ内を巡回している施設看護師が2名おり、各施設全入居者のバイタルチェック、身体管理、保清、体調変化時や、その他個々の状況に合わせ主治医との連携を取り支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中のご様子や、退院後のケアについては、入院中から医療機関と往診医、看護師と状況確認、情報共有を行い、退院後、施設での生活にスムーズに戻れるよう関係作りを行っています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医師の診断、予後を受け入れご家族様を含め関係機関での情報共有、カンファレンスを行い、ケア方針を決定します。ターミナルケア移行に伴い、ご家族様と契約を行います。ご本人、ご家族の希望を聞き取り、施設としてできる事を取組んでおります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	時間に関わらず、急変、事故発生時にはマニュアルに沿い、各階リーダー、管理者への報告、指示を仰ぎ、必要に応じご家族への連絡後、救急搬送をします。事故の際には報告書を提出の上、振り返りを行い、再発予防に努めております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	三日分の食料、飲料水、ブランケットの備蓄をしています。定期的な防災訓練を心掛け、避難経路の確認をしています。マニュアルは年毎の見直しをし、より安全・スムーズに避難が出来る様に改善していきます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個々に居室があり、おひとりで過ごされたい方は自由に戻られ、好きな時間を過ごして頂けます。レクリエーション活動等も行っておりますが、その日の気分に合わせて対応しております。排泄へのお声掛けも周囲に配慮し言葉を選んで対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員間での情報共有を徹底し、個々の小さな言葉にも耳を傾け、出来る事、出来ない事を提示し、どうされたいかを決めて頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日々、おひとりおひとりのペースを優先しておりますが、やはり、職員側の都合が介入してしまう事はあります。出来る限り、希望に沿った支援はしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入浴の時や、外出等、ご本人と一緒に洋服を選んだり、訪問美容の際には髪型を相談したり、その方らしい身だしなみが出来る様支援しております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来上がったお料理の味見や、お料理のコツ、食後の食器拭き等と一緒にしています。月に1度程度、テイクアウトのお弁当等を楽しんでいただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	日々、食事量、水分量、排泄の回数など確認し、体調の変化にいち早く気付ける様にしております。持病に応じた塩分、カロリーの制限も主治医、看護師と相談の上行き支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	定期的な歯科往診を依頼しており、口腔内の状態の確認をしております。歯磨きや義歯の調整も細かくご指導頂いております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	日頃のちょっとした仕草などのサインでトイレへの誘導タイミングをはかり、対応しております。入院等で体力の低下が見られ、一時的なオムヤリハビリパンツの導入はしますが、体力が戻り次第、入院前の状態に戻せるように支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘傾向にある方だけでなく、全入居者様に、毎日、ヨーグルトを提供し、排便の有無を毎朝確認しております。下肢の運動や、看護師による腹部マッサージなど、状況に応じ個々に対応をし取り組んでおります。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	皆様のタイミングや希望の時間に入浴をして頂ける環境はとても理想的ではありますが、現状、見守りの人員配置等が難しく、安全面を考慮し時間帯を決めて入浴をして頂いていますが、ご気分に合わせて入浴日は臨機応変に対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	休憩時間や終身時間は個々の習慣に合わせて、対応して居ります。日中の横になりたいと要望があれば居室にてゆっくりと過ごして頂けます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員がいつでも確認出来る様に薬情はフロアに置いており、体調の変化など気付いた事は、皆で情報を共有し観察、往診の際に主治医への報告、相談、検討をする体制が出来ております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	俳句や囲碁、塗り絵や読書、散歩等、皆様の趣味の時間を共有し、時にスタッフが教えて頂いたり、楽しみや役割、気分転換になればと支援しております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	現状、コロナウィルスの感染予防の観点から、外出支援は控えておりますが、今後、個々の要望や、施設イベント等で皆様に楽しんで頂ける支援をしていきたいと考えております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	紛失や物取られ妄想からのトラブル予防のため、原則、お金の所持はお断りをさせて頂いておりますが、ご家族、ご本人と相談のうえ、ご希望があれば対応させて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望に応じ電話でご家族とお話をしたり、お手紙のやり取りもスタッフが代行する等の支援をしております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用空間は十分な広さがあり、窓も大きく彩光も十分入ってきます。入居頂いている皆様が快適に過ごせる温度を意識し調整しております。テレビや音楽を楽しんで頂く時は、耳障りにならない音量で流しております。季節を感じて頂ける様に、季節ごとの壁面飾りを入居者様と作成しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	壁面にゆっくりとくつろげるソファを配置し、誰でも好きな時に座って頂けます。気の合った方同士、テーブルで自由に談笑をされたり、マッサージ機に掛かりながら読書を楽しまれています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご入居時に使い慣れた家具や装飾品、ご家族のお写真などを持って来て頂けるようお願いをしています。居室内の配置等はご家族様と相談の上決めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	浴室やトイレの表示、個々の居室にはネームプレートを設置しております。居室押し入れや、箆笥には入っている物をご自身で分かる様にタグを貼ったり、ご自身で整理整頓をして頂いております。居室内の清掃もスタッフと一緒に出来る事をして頂いております。		

2021年度

ホームフレンド藤沢

作成日： 2021年 10月 10日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	現在は、保険更新、申請等の折に市町村担当者への連絡のみとなつて居る。	運営推進会議やその他の機会に、市町村の担当者との連絡、相談などを通し情報交換や、施設からの情報発信に繋げていきたい。	コロナ終息後は、地域の方が気軽に訪ねて来られるような開放的な施設にしていきたいと考えている為、市広報誌掲示板等の活用等、相談検討していきたい。	12ヶ月
2	12	想いや意向の把握。日常的な会話の中で、可能な限りご本人の意向を伺い実現できる事は積極的に取組んでいる。今後はご家族様との密な連絡を意識し、より深く理解、把握に努めたい。	働いている全ての職員が全入居者様、ご家族の意向、思いを把握しケアにあたる事が出来る。	施設に足を運んで頂ける機会を多くする。半年に1度程度、意向調査アンケート等の実施検討をする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月